

令和 5 年度第 3 回日野市ごみ減量・リサイクル等推進協議会 要点録

■会議の日時等

日時 令和5年(2023年)12月11日(月) 午後2時30分～午後4時

会場 日野市クリーンセンター プラスチック類資源化施設 2階多目的室

出席者 協議会委員

【廃棄物に関し学識経験のある者】

宮脇委員

【市民委員】

新井委員、小松原委員、加納委員、畑中委員、タルマン委員、森谷委員

【ごみ減量の推進体制の構築に資する事業者及び団体の関係者】

高松委員、大野委員、駒沢委員、津嶋委員、鈴木委員、星野委員、内田委員

【環境保全課長】

中平委員

【施設課長】

細谷委員

事務局

【環境共生部】

小平環境共生部長兼クリーンセンター長

【ごみゼロ推進課】

小澤課長、高橋課長補佐、河本

欠席者 協議会委員

【市民委員】

小野委員、川面委員

傍聴者 なし

次第

<委嘱状交付式>

1. 委嘱状交付
2. 市長挨拶

<協議会>

1. 自己紹介
2. 会長及び副会長選出
3. 協議会について

- ・協議会の役割
- ・これまでの協議会の活動
- ・今期の協議会の活動予定
- 4. 日野市の取り組みについて（DVD視聴）「ごみゼロ社会を目指して」
- 5. 『5R』について
- 6. グループワーク「5R をたくさん出してイチオシを選ぼう」
 - ・進め方の説明
 - ・アイスブレイク GOOD&NEW
 - ・本題
 - ・発表
 - ・講評
- 7. その他

事前配布資料 ※紙減量のため、当日、紙媒体による資料配布なし

- 資料1 令和5年度第3回日野市ごみ減量・リサイクル等推進協議会次第
- 資料2 日野市ごみ減量・リサイクル等推進協議会設置要綱
- 資料3 今後の日野市ごみ減量・リサイクル等推進協議会スケジュール

- 送付1 第3次日野市ごみゼロプラン
- 送付2 第3次日野市ごみゼロプラン【資料編】
- 送付3 第3次日野市ごみゼロプラン【概要版】
- 送付4 第3次日野市ごみゼロプラン【中間改定】
- 送付5 第3次日野市ごみゼロプラン【中間改定 概要版】

■主な内容

<委嘱状交付式>

1. 市長より代表者1名へ委嘱状の交付
2. 市長より挨拶

<協議会>

1. 自己紹介（氏名及び所属団体等）
2. 宮協会長及び高松副会長を選出
3. 協議会の役割・これまでの協議会活動内容・今期の協議会の活動予定を事務局より説明
4. 日野市の取り組みについて、DVDを視聴

5. 『5R』について、事務局より説明

6. グループワークの実施

テーマ「5R をたくさん出してイチオシを選ぼう」

※事務局より、進捗方法等を説明。

3つのグループ(A,B,C)に分かれ、テーマについて話し合い、下記のとおり各グループの発表を行った。

【A グループ】

メンバー：新井委員、タルマン委員、大野委員、星野委員、中平委員

発表者：星野委員

発表内容：

- ・イチオシの取り組みは、「古着屋」とした。
- ・ファストファッション、大量生産、大量消費が大きな問題となっている。これを見直す取り組みであると考えたため。
- ・地域に密着したような環境施設の見学会など、楽しんで取り組める仕組みができると、より「5R」を意識していけるのではと思った。

【B グループ】

メンバー：小松原委員、加納委員、駒沢委員、鈴木委員、小澤ごみゼロ推進課長

発表者：鈴木委員

発表内容：

- ・イチオシの取り組みは、「マイバッグの使用」とした。
- ・広く社会に浸透し、一番身近にあるものと考えたため。
- ・さらに浸透させていけば、さらなるごみの減量につながると考えた。
- ・日野市では、レジ袋を断り指定収集袋として活用できる「レジごみ袋」の取り組みをおこなっているが、これは非常に良い取り組みと言える。

【C グループ】

メンバー：森谷委員、畑中委員、高松委員、津嶋委員、内田委員、細谷委員

発表者：森谷委員

発表内容：

- ・イチオシの取り組みは、「リユースのアプリ」（ジモティーやメルカリ等）とした。
- ・若者にはとても便利で使い勝手が良いが、高齢者の中には買うことはできても売ることはできないなど、使い切れていない方も多くいるかと思う。
- ・使い方を分かっている若者などが講習会などを開催することで全世帯に広がり、ひいてはごみの減量につながると考えた。

【宮脇会長より講評】

- ・各グループともに非常に楽しそうに議論されており、大変良かった。
- ・このような協議会に参加される方々なので、各委員とも非常に意識が高いのを感じられた。
- ・各グループとも、身近な「ペットボトル」は挙げられていた。
- ・海洋問題から、プラスチックの使用が大きな問題となったが、多角的な面から考察することも重要であるという意見も見られた。
- ・日本には、「まだ使えても、すぐに新しいものを買わないとならない」文化があるという話も出ていた。
- ・マイバッグはすごく大事と思った。
- ・古着屋については、TikTok の活用などの話も出ており、議論として良かった。
- ・スマホのアプリなど様々なメディアがあり、それに到達できない方々をフォローする案が議論されていて、興味深く聞かせてもらった。
- ・どのグループも、非常に多くの意見が出ていた。

7. その他

次回及び次々回の開催日程を事務局より説明

- ・次回 令和 6 年 2 月 1 日(木) 14 時 30 分より
- ・次々回 令和 6 年 5 月頃